



# The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

## 浜松志耀ロータリークラブ 第36回例会

開催日時: 2024年7月25(木) 午前7:30 ~ 8:30

開催場所: オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間

### ■ 会長挨拶 小川会長

ロータリアンの皆様、おはようございます。早朝より、第2620地区バスタガバナー新クラブアドバイザー 浜松北RC岡本一八様にお越しいただきました。ありがとうございます。

本日は、会長としてのスピーチの心得についてお話しさせていただきます。調べたところ、次のようなことが書かれていました。「ロータリアンは、皆が忙しい中、時間を自己管理できる経営者であるからこそ、仕事をやりくりして例会に出席しています。それは、食事のためではなく、例会に身を置きたいと思う『何か』があるからです。だからこそクラブ会長は、その『何か』をきちんと提供しているという認識と自負を持ち、毎回の例会が価値あるものとなるよう心がけなければなりません。」

さらに、会長スピーチのポイントとして、「ロータリー情報を交えながら、感動的で役に立つ話」を心がけ、毎回会員が「来てよかった、心が洗われた」と思える内容を目指すとなりました。このことは、私にとって非常に難しいと感じています。なぜなら、この例会場には優秀な人・立派な経営者の方が多くおられるからです。

今日はまず、会員皆様に私自身のことを知ってもらうことで、親近感を持ってもらおうと思います。では、自己紹介をさせていただきます。私は昭和43年4月3日生まれの現在56歳で、28歳まで現在の愛知県北名古屋市に住んでいました。趣味は魚釣り、小型船舶操縦免許二級取得、バイク中型免許取得、時計集め、そして狩猟です。特に好きな時計のブランドはブライトリングです。また、アメリカのTUMIブランドのビジネスカバンや財布、傘、メガネ、名刺入れなどを愛用しています。お酒も大好きで、ビール、日本酒、ウイスキーを楽しんでいます。毎晩、家でビールとウイスキーを飲むのが習慣です。このような酒好きですが、私は浜松東地区安全運転管理協会会長を仰せつかっておりますので、飲酒運転には特に気をつけています。皆様も私と一緒に飲む際には、飲酒運転にはご注意ください。皆様が飲酒運転で捕まってしまうと、私は叱責されることとなりますので、ぜひお気をつけてください。

次に、趣味の狩猟について少しお話しします。私は10年前に狩猟免許を取得し、現在は猟銃空気銃を所持しています。見た目はスコープも付いており、映画やドラマに出てくるスナイパーライフルのようで、とてもカッコいいです。性能としては、50メートル先の一円玉ほどの大きさに当てることができ、100メートル先の鴨の頭を狙って獲ることもできます。狩猟の際には、まず獲物の鴨を見つけたら、獲っても良い種類か確認します。その後、ゴルフでも使用するスコープで距離を測り、右目でスコープを覗き照準を合わせ、左目で銃の水平を整えて、チャンスが来たら静かに引き金を引きます。見事に獲った時の気分はまさにスナイパーのようです。

日本では銃の所持に非常に厳しい基準があります。毎年、警察署に行き、面接を受け、銃が改造されていないかチェックされます。3年ごとに更新があり、その際には自宅に警察官が来て銃の保管状況を確認し、近所に私のことを聞き込みに行きます。「小川さんは猟銃を所持していますが、どんな人ですか?」と尋ねられ、家で暴れたり奇声をあげたりしていないか確認されます。面接では、アルコールを飲むとどうなるか、年収や借金の有無なども聞かれます。では、猟銃を所持したければどうするか。猟銃の所持には欠格事由があります。ネットで「猟銃 欠格事由」と検索すると、その詳細を確認できます。これに該当する人は猟銃を所持できません。該当しないと思えば、住んでいる近くの警察署の生活安全課に行き、猟銃所持を申し込んで下さい、更に狩猟するには狩猟免許が必要で、各都道府県に狩猟免許の申請が必要になります、両方とも試験があり専門医の精神診断書も必要となります。特に猟銃については申し込んだ段階から警察の身辺調査が行われるそうです。

そろそろ皆さんの中で「今日の例会に何で猟銃を持って来てないの、次回でも持ってきて触らせて」と思われそうですが、猟銃を例会に持ってくることは銃刀法違反になります。また、一銃一許可制なので、会員の皆さんも触ると銃刀法違反になることもありますので、ご注意ください。日本で銃を所持するためには、世界で最も厳しい基準があります。

本日の話が皆様の「何か」の参考に少しでもなれば幸いです。今後も一生懸命に会員の皆様が「来てよかった心が洗われた」と思える内容を提供できるよう努力してまいります。本日もよろしくお願い致します。

### ■ ゲスト挨拶 岡本一八 パスタガバナー

私はロータリーに入って、間もなく50年になる。入会時に浜信の当時の理事長から「毎週の例会に出席できないなら、ロータリーに入るのは止めなさい。社長も辞めなさい。」と言われた。『社長なのに毎週の1時間半をコントロールできない』のは社長でないし、そのような社長が経営する会社は潰れてしまうと言う意味だった。毎月海外出張するなど多忙であったが、メーキャップを利用して浜松12クラブへの参加や世界にあるクラブに参加した。

そのおかげで視野を広げることができ、いろいろな方と親しくなった。ロータリーに入って良かったこと、それは親睦だ。皆さんもロータリー活動に積極的に参加していただきたい。

### ■ 幹事報告 田淵幹事

1. ガバナー事務所からの「会員増強用のパンフレット『世界を広げる準備をしよう』」を活用して、新規会員を募っていきたい。

2. 村田奉仕プロジェクト委員長挨拶  
・地区補助金を活用し、子どもへの支援を基本にクラブ内で協議し、継続的な奉仕プロジェクトを計画していきたい。

### ■ 議事 各委員会の年間協議

各委員会別でテーブルに分かれて、今年度に担当する例会の卓話の内容や、委員会として行う役割などについて協議した。

### ■ アンケート結果の報告 小川会長

7月1日のアンケート結果について、前回例会後の理事会で協議、後日少人数によるBANDリポート協議、7月19日の小澤直前会長のコメントを踏まえて、今後の対応方針についてお話しさせていただきます。

#### <今後の対応方針>

##### 1. 朝例会とオークラ浜松を基本とする:

基本的には現在のオークラ浜松での朝例会を継続します。これにより、安定した環境で例会を開催し、参加者の利便性を確保します。



## 2. 昼例会や夜例会の開催:

年に数回、昼例会や夜例会を開催し、全ての会員が参加しやすい環境を作ります。これにより、多様なニーズに応えることができます。

## 3. 他の会場の活用:

必要に応じて、鈴木庵などの他の会場も検討し、費用削減を図ります。これにより、クラブの財政健全化を目指します。

## 4. 例会費用の見直し:

現在の経済状況を踏まえ、クラブの活性化と持続可能な運営のために、例会費用の値上げも検討しなければなりません。会員の皆様にとって最適な形を模索し、慎重に議論する必要があります。

## 5. 委員会による内容計画:

各担当委員会が担当例会の内容を計画し、理事会で審議・決定する流れを確立します。これにより、例会の質を高め、会員の満足度を向上させます。

## 6. 品格維持のための工夫:

会場選定や例会内容において、ロータリーの品格を維持することを重視します。これにより、クラブのブランド価値を守ります。

## 7. 卓話の充実:

経営関係の卓話を増やし、会員同士の交流を深めます。

## 8. 参加しやすい環境

自由席や食事不要のオプションを検討し、他RC訪問や宿泊例会など、会員の希望に基づいた活動を推進します。

## ■スマイル

①小川会長・田淵幹事－岡本一八様 例会参加への御礼

②小澤直前会長－岡本一八様 例会参加への御礼

③佐々木会員－大学院合格の報告

④衛藤会員－司会への御礼

ゲスト 1名(第2620地区バスターガバナー 岡本一八様)

出席率 : 65 % (会場 20名+BAND 2名 = 22名/34名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ  
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106



2024 - 2025 年度 第 1 回例会にて 2024 年 7 月 11 日 撮影

